

おれんじニュース

No309

2015年12月号

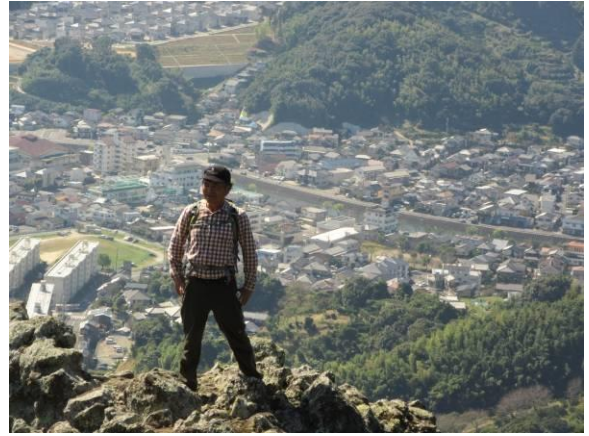


10/23,24 オレンジHCの35周年記念と佐原さんの卒寿の御祝いを五家荘でした。秋晴れに恵まれた京ノ丈山の帰りに梅の木轟滝にて散策。紅葉は今一だった。

今月号の記事	稗の岳・丸田岳、オレンジHC35周年記念と佐原さん卒寿御祝い in 五家荘、根子岳東峰、経ヶ岳の新標柱担ぎ応援 本の紹介
--------	--

	2015年12月	2016年1月	時間	場所
運営委員会	8日(火)	12日(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	23日(水)	27日(水)	19:00~21:00	

タンタン岩にのぼりました。



OHC35周年記念 & 佐原さんの卒寿IN五家荘



佐倉荘を出発、山コースと散策組



宴会の主役はやはりM氏(笑い)



所々に綺麗な紅葉が



京ノ丈へは、26名の登山グループで

2015 /12 月の山行



	自然保護部	ひまわり山行部	山行部	技術研修部
月/日(曜)	12/6(日)	12/11(金)	12/15(火)	12/20(日)
山名(行事)	猿葉山 364m	諫早街道歩き	裏英彦山	金立山
地 図	愛野	諫早	英彦山	広滝・佐賀北部
集 合 場 所	西諫早駅 8:00	諫早神社 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30
難 易 度	体力 1 技術 1	体力 2 技術 1	体力 2 技術 1	体力 1 技術 1
帰 着 時 間	16:00	15:00	20:00	17:00
歩 行 時 間	3.0h	4.0h	7.0h	3.5h
交 通 手 段	マイカー	帰り、公共交通機関	マイクロバス	マイクロバス
宿 泊 施 設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	?	無し	有り	?
参 加 費	1000 円	交通費のみ	5,000 円	3,500 円
申 込 期 限	随時	12/9	12/7	11/25
集 約	山口	林	高森	山下文代
備 考	赤い鳥居を沢山くぐって猿葉稲荷神社にお参りし千々岩海岸の眺めをたのしみます。	長崎街道の脇往還である諫早街道を初めて歩く。最初は小江か湯江まで歩く。	高住神社よりのぼり、龍水峠、鬼杉登山口へおります。これが完了すると裏英彦山道の完結になります。	吹上観音で今年の無事山行の御礼参りをします。2つの展望所からの眺めも素晴らしいですよ。
感想文提出	12/16	12/21	12/25	12/30

技術研修部だより

セルフレスキュー

12月26日(土) 9:30 西諫早駅 レスキュー納めです

事務局だより

忘 年 会

2015/12/18(金) 18:30~20:45

食楽亭(諫早市泉町 21-37)

☎0120-24-0191,0957-21-0018

費用: 女性 5,000 円 男性 6,000 円 飲み放題

申込(事務局)

鎗水律夫

2016 / 1 月の山行



部	山行部		技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	1/8(金)・1/9(土)		1/16(土)～1/17(日)	1/24(日)	1/29(金)
山名(行事)	諏訪神社～ 妙相寺	英彦山～ 若宮神社	16/羅漢山(1109.1m) 17/三倉岳(701.8m)	琴路岳(340m)・ 唐泉山(410m)	帆場岳・ 四ツ峠
地 図	長崎東北部	長崎東南部	玖波・宇佐郷(広島県)	鹿島・牛屋	長崎東北部
集 合 場 所	西諫早駅 7:19		諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10	諫早駅 7:25 発 西諫早 7:30 発
難 易 度	体力 2 技術 1	体力 3 技術 1	羅漢山(体力 1・技術 1) 三倉岳(体力 2・技術 2)	体力 2・技術 1	体力 1.5 技術 1
帰 着 時 間	15:00		20:00	18:00	17:00
歩 行 時 間	4h	3h	羅漢山(2.5h) 三倉山(6h)	5h	5.5h
交 通 手 段	JR & 路面電車		マイクロバス	マイクロバス	JR、バス
宿 泊 施 設	無し		民宿、どんぐりの山	無し	無し
温 泉	無し			無し	無し
参 加 費	交通費のみ		15000	2500	交通費のみ
申 込 期 限			1/10	1/8(金)	1/27
集 約	高森		山下文代	山口	林孝子
備 考	長崎の初登りは七高山から。今年は前、後半 2 回に分けて、誰でも参加出来る様に計画しました。 一年の登山の安全を祈りましょう。		広島に山に登ります。ミニ大崩と言われるように面白い変化にとんだ山です。羅漢山の山頂の蛇紋岩は磁性を示す岩です。コンパスを置いて試してみましよう。	琴路岳山頂からの眺望は素晴らしい。唐泉山は名水の不動水が有名です。祐徳神社の初詣と酒蔵巡り & 新年飲み会を計画しています。	帆場岳(長崎では三ツ山の名で良く知られている)から現川峠、小場峠、中尾峠、日見峠の四つの峠に行くハイキングコース
感想文提出	1/19		1/26	2/4	2/9

県連行事案内

雪山登山座学：長崎市民会館地下 1 階第 5 会議室、12 月 15 日 7:00PM

雪山登山： 広島県、恐羅漢山、2016 年 2 月 13～14 日

冬山・地図・コンパスの学習：(川棚 虚空蔵山)、2016 年 1 月 23 日

比叡山岩登り(アルパインクライミング)：2016 年 4 月 2 日

予定です。



2015年10月/11月の山

10月18日(日)

稗の岳(249m)・丸田岳(333m)自然保護部

(参加者)間ノ瀬、佐原、山口、森寿美子、坂本、岩永、松田、高森、田中静香、工藤、田村、中里 (12名)

(行程)8:24 西諫早駅~8:51 長与駅~中尾城公園~9:30 南田川内~10:10 稗の岳~11:00 丸田岳~11:15 タンタン岩(昼食)~13:00 本川内駅~13:52 西諫早駅

(感想)朝から快晴で元気でまずは稗の岳を目指して出発した。中尾城公園の所から無料ゴンドラに乗り南田川内の方へ向かったのだが道が多くて分かりずらく途中で通行人に聞いて何とか行けそうである。稗の岳の頂上の所が角度がきびしいがリーダーの声掛けで9人が20分位かけて無事戻ってきた。

丸田岳の頂上に烽火台跡があったが長崎から琴の尾岳の中継地として使われていたものとかんがえられる。1639、長崎の鋒火山に烽火台が設置されたと記されていた。

タンタン岩では、雨が降った時雨水のしたたり落ちる音がタンタンと聞こえることからタンタン岩といわれるそうである。岩体は火山カクレキ岩層が急な崖を形成している。



200年前に爆発した火山の周辺部に位置しており異様な景観を呈している。

復路では少し時間があつたので、仙吾岳(375.6m)まで足をのぼし、扇塚公園に寄って温泉によって帰着。

いろいろ、下準備、下見した皆さん、本当にお疲れ様です。楽しい1日をありがとうございました。(坂本 記)

10月23~24日(金土)

オレンジHC 35周年記念と佐原さんの卒寿の祝い in 五家荘

(参加者)佐原、林(孝)、白石、山下(ち)、田中(静)、福岡、松岡、小熊、中野、山本、山口、田村、林(和)、吉川、下釜、松田、高森、間ノ瀬、川原、兵庫、大久保、高田、鎗水、工藤、岩田大村(神奈川)、富永陽子(東部)、山崎(大村)、松本(鹿児島) 会員25名 外4名

(行程)

10/23 西諫早駅 6:30~松橋 IC~二本杉峠 10:10~黒原登山口 10:40/:50~京丈山 13:00~黒原登山口 15:20/:35~梅の木轟滝 15:45/16:20~五家荘 佐倉荘 16:30

10/24 五勇山組(6名) : 佐倉荘 5:35～ぼんさん道 6:25～烏帽子岳 8:15～五勇山 9:30
～峰越峠 12:40

烏帽子組(12名) : 佐倉荘 7:05～ぼんさん道 7:50/8:10～椎葉越 8:20～烏帽子岳
10:25/1:50～昼食 11:25/1:50～椎葉越 12:50～峰越峠 13:15

白鳥山組(7名) : 佐倉荘 7:05～峰越 8:10～白鳥山 9:50/10:40(散策)
～峰越峠(昼食)12:00

散策組(4名) : 佐倉荘 8:00～散策～キャンプ場 13:55

全員キャンプ場に集合 13:55/キャンプ場発 14:15～西諫早駅 19:40

10月23日、24日晴天に恵まれた二日間オレンジハイキングクラブは五家荘を舞台に35周年記念と佐原さんの90歳のお祝いイベントを執り行った。2台の車で出発したメンバーは3名の散策組以外26名が黒原から京ノ丈への登山を開始した。

黒原の駐車場の持ち主山嶽岩男さんは川原さんのお友達と言う事でまずお土産を持って行く。ここの紅葉はまずまず。気持ちの良い山道を行くと少しずつ高度を上げて行き、谷合いの広い分岐で軽い昼食を取る事にした。二本杉で少し食べた人は食欲がわかないらしい。先へ進んでいく。日本庭園の様に苔むした岩場には「トリカブト」が遅咲きで残っていた。頂上には予定より早く着いたが3班のメンバーがまだやってこない。地図を見たりして少し待ったが下山開始。結局、黒原には少し早く戻って、梅の木轟滝を見学して佐倉荘へ行くことにした。

佐倉荘での夕餉はいつも通り素晴らしく、鎗水さんの司会で余興も盛り上がった。

宴会の始まりは松岡さんの「パチンコ店の呼び込み」を軍艦マーチにのせて、オレンジハイキングの呼び込みに変えて伝えてくれた。音量の関係で聞き取りづらかったので、ここに掲載して。皆さんに楽しんでもらうことにする。



『いらっしゃいませ、いらっしゃいませ。ありがとうございます、ありがとうございます。本日は数ある「山の会」の中より当OHC35周年記念一大イベントにお隣、お近所、お友達、お誘い合わせの上、多数の御参加、誠にありがとうございます。会長はじめ、幹事一同、会員様お一人様お一人様に篤く深く、深く篤く御礼申し上げます。

いらっしゃいませ、いらっしゃいませ。ありがとうございます、ありがとうございます。当OHCにおきましては「登る」「登れる」「登らせてます」とこの三つをモットーに40代、50代、60代、70代、80代はもとより最高齢は90歳の佐原満子さんに至りますまで、近くは御館山から遠く赤道直下、キリマンジャロ、又、日本アルプスはもとより東北の早池峰山、更に北海道の旭岳と、ジャンジャンバリバリ、ジャンジャンバリバリ登っております。いらっしゃいませ、いらっしゃいませ。ありがとうございます、ありがとうございます。

お時間まだまだ十分十二分ございます。どちら様も、どちら様も、70, 80, 90, 100を大きく越えまして最後はお迎えが参りますまでジャンジャンバリバリ、ジャンジャンバリバリお登りくださいませ。お楽しみ下さいませ。

**いらっしゃいませ、いらっしゃいませ。ありがとうございます、ありがとうございます。
本日も多数の御参加、誠にありがとうございました。ありがとうございました。」**

宴は白石さんの身体を張った踊りや、会長の女装パフォーマンスなど 9 時近くまで賑わった。
(山下 ちず子 記)

(散策組感想)

10/23,24、オレンジ HC35 周年記念山行に私の”卒寿の祝い”もと考えていただき、五家荘の佐倉荘を借りきり 29 名の参加者でにぎにぎしく開催して頂き、その上記念品迄頂戴し、皆様誠に有難うございました。

又、中須賀さんからは卒寿の御祝いとして、喜多流祝謡‘春の榮’の詩を頂きました。機会があったら、もしご本人が良かったら、ご本人の美声で一節吟じて頂きたいと願って居ります。

神奈川から来てくれた大村さんもお別れ以来 14,5 年にもなるが「オレンジ会の人達の暖かい精神は全然以前と変ってないね」と感心する事しきりで、一晩皆様とご一緒出来た事を喜んで帰って行かれました。

本当に皆様有難うございました。

(佐原 記)

(五勇山コース)

前夜の宴の余韻が冷めやらぬまま朝の 4 時半を迎えてしまいました。

朝の冷気の中、佐倉荘のとびきり冷たい水でシャワーを使わせてもらったのですが、前日からの沢田研二の「ストリッパー」を BGM にエネルギッシュに且つ軽やかにステップを踏む白石さんに必死に喰らいついて踊る(?) 鎗水さん(なんととってもその敢闘精神が素晴らしい!)の残像が脳裏から消えないまま、バタバタと朝食を済ませ、5 時 40 分、夜明け前の薄暗闇の中、岩田さんのランドクルーザーで坊さん登山口迄送っていただき 6 時 30 分、五勇山めざして出発しました。

リーダーの福岡さんが予定時間内には必ず他の組と合流しないとイケないという制約もあり、又、前日の京ノ丈で福岡さんが「ゆっくり班」のリーダーを務められて時間切れで、途中で早目に引き返したという不完全燃焼もあってかフラストレーションを吹き飛ばす様にどんどんペースを上げて行きました。

天候は絵にかいたような秋晴れでこの上ない上天気。

紅葉のピークは過ぎていて、今一でした
がそこかしこにモミジの落葉が赤い絨毯を作ってくれました。登山道もすこぶる足に心地良く歩き易く予定より大幅に早く 8 時 20 分には烏帽子岳山頂に立つ事が出来ました。そして五勇山には 9 時 40 分頃着いたのですが、なかなか山頂を示す標示が見つからず、あきらめて戻ろうとしたのですが、さすが OHC の会長である福岡さんがも



う少し先まで行って見ようと進んだ所、まぎれもなく五勇山の標柱に直面する事が出来ました。

帰路は山下さんがトップでこれ又、ハイペースで飛ばしました。11時30分頃に自分達より1時間遅く佐倉荘を出発した烏帽子組も追い越して快調に進みましたが、椎葉越を通り過ぎた所でポカポカ陽気に誘われたのか先頭の山下さんが細い（太くない）倒木に乗った瞬間、ポキッ（ポキッではありません）と折れてコロッ（ゴロッではありません）と転倒。しかし軽やかに立ち上がり一同安堵。

内村航平すら、転倒する事もあるのだからどうこう言う事もなかったのですがこれというエピソードもなかったのでつい書いてみました。

そして、予定を大幅に縮めて丁度1時に集合場所の峰越登山口に着く事が出来ました。

（松岡 記）

（白鳥山コース感想）

24日、佐倉荘を朝7時に出て白鳥山組は、7名で登山口を出発した。峰越登山口から出発し急登でも無く歩きやすい道を行くと広い稜線にでた。

落葉を踏みしめての山歩き、紅葉シーズンには少し過ぎた感じだが風情がある。

ブナの黄葉、カエデの紅葉と、コントラストが素晴らしい。

途中、大きな窪地があり、岩に苔がびっしり付いている。山の神の力で見事な日本庭園ができあがっていた。堂々とした景観であった。

現在はこの自然を破壊されないように周囲を金網で覆ってあった。これも仕方の無いことだと思った。この辺りは「ヤマシャクヤク」の群生地らしい。こんどは花の咲く時に来たいと思った。

しばらく歩くと「平家残党 左中将平清経住居跡」の標柱がある。川原さんがゆっくり語ってくれた。とても分かりやすかった。

話題の豊富な「山」だなーと感じた。

白鳥山頂上は広々としていたが見晴らしは今一だった。一緒に歩いていた鹿児島島の松元さんが見晴らしの利く所まで案内してくださった。高千穂、霧島連峰などの山々が遠くに見えるので説明してくださった。

天気にも恵まれて最高の山歩きを楽しむ事が出来た。

（田村 記）

（烏帽子岳コース感想）

10月23日、24日、天気は晴れです。

24日、烏帽子岳1692mへは、12名。マイクロバスで、7時に佐倉荘を出発。

「坊さん登山口」に8時頃着く。登山口から急に登る。右も左も雑木林、ヤブをフーフー息を吐きながら登りました。椎葉越・烏帽子岳、五勇山への分岐・烏帽子岳山頂へとつづく。稜線を越すとシャクナゲ群落。カエデや、もみじをみながら烏帽子岳山頂に着く。



見渡すと紅葉は少々終りに近づいていました。

昼食は落葉や、木々の下で済ませて、すばらしい山峰を後に峰越登山口に下山しました。

全員キャンプ場に集合し帰路につく。天気にも恵まれた 2 日間でした。感謝で一杯です。

お世話になりました。

(松田 記)

10月31日(土)

根子岳東峰(1408m)山行部

(参加者) 中須賀、松岡、林(和)、高森、松田、大久保、鎗水、福岡、田村 (9名)

(行程) 06:25 諫早駅～6:30 西諫早駅～8:20 熊本空港 I C～10:00 大戸尾根登山口～12:00 根子岳山頂～13:00 根子岳発～13:05 前原牧場分岐～13:55 牧場登山口～高森温泉～熊本空港 I C～19:15 西諫早駅

(感想) 前日のメールにより感想文を書く事を知り、ハタと困りキャンセルも考えつつ当日参加する。当日は晴天の登山日和、感想文まあ一何とかなるだろうと気持ちを切り替え阿蘇の名所と言う根子岳へ。

登山届、先日教えてもらったストレッチ体操で体をほぐし登山開始。

途中、ヤマラッキョウの花を見つけてルンルン気分で登っていたが、これはほんのひと時でやがて急登になると火山灰の地に足を取られ、また普段の鍛錬不足により足が重く一歩踏み出すのに悪戦苦闘、みんなの励ましにより、少しずつ登って行くがキツイもうこれで山登りは止めようと何度思ったことか。

皆さんは、途中の景色に感嘆の声をあげておられるが、そんな余裕はまったく無く、ただ喘ぎ喘ぎ登るのみ。

山頂近くまでは急登、前原牧場分岐近くより視界が開けるものの、右側の傾斜地に足も竦むがロープを握りしめ恐る恐る通過。山頂には 30 分早く到着。おかげでゆっくりと弁当を食べる事が出来ました。

頂上からは色とりどりの紅葉のなかに天狗峰の姿が雄々しく映っており 360 度の景色に今までの愚痴もどこへやら気分爽快となり、谷合の溪谷も見る余裕が出てき、西峰にも登ってみたい気持ちが少し湧いてきましたが、到底無理な事と思い直し下山する事としました。

下山は登りと違い、前原牧場分岐より牧場登山口へ下るが、これまた急斜面で視界も悪く、ロープを伝い下りるが登山者が少ないせいかロープが古く途中切れていたりして木立につかまりながらの下山となりました。

下山後、牧場では阿蘇の赤牛がのんびりと牧草を食べており、近くに山グミの小さな実を見つけ思わず口に頬張り、子供のころ食べた味をなつかしく思い出しました。

ウメバチソウの花が群生している牧場を後に高森温泉にてゆっくりと入浴、疲れを癒しながら、次はどの山行に参加しようかと考えながら帰路に着きました。 (大久保 記)

11月3日(火・祝)

経ヶ岳の標柱運び応援山行

(参加者)川原、松岡、岩田、田中(静)、山下(ち)、下釜、山下(文)

経ヶ岳の標柱が新しく作られているのはオレンジニュース 6月号で紹介しました。制作者の岩永敏文さんは北海道に行く前で忙しく毎日ノミを振るっているといわれていました。

今回、無事出来あがり標柱を経ヶ岳まで運び上げるお手伝いをさせてもらいました。

岩永さんの人徳のなせるわざでしょう、約20数名、頂上に登山者で埋まるほどの参加者(協力者)でした。5月20日で、24.5キロあった標柱は乾燥して少し軽くなってはいましたが、包んだ袋や、ザックに結び付けての重さはやはり23キロはありました。中山峠まで前日に運んで有り、そこからまず、岩永さんが担ぎました。御年80歳の岩永さんの歩きはビックリするほどしっかり

した運びで、ハーネスを付けてもらい細引きで左右の前方から助けながら歩いたのですが、はっきり言ってあまり必要なかったのではないかと思うほどでした。先導の松岡さんと私が細引きを引きながらルートを外しそうになり岩永さんに指摘されたくらいです。

舞岳分岐では担ぎ手交代。今度は佐世保の海兵さんの番です。ここからは登りも多く頑張っただけでひかなくては・・と思ったのですが彼の歩きがはやく、本当に手伝ったのは3mの崖登りの時でした。ここに来ると、川原さん、岩田さん、松岡さんが上からロープで引き上げて、リーさん(彼の名前)はメインロープにユマールを設置し、それを持って登って貰いました。ユマールの使い方は初めてと言う事でしたが、理解が早くあっという間に自分のものにしていました。頂上に着くと岩永さんとリーさんが熱く握手している姿が印象的でした。

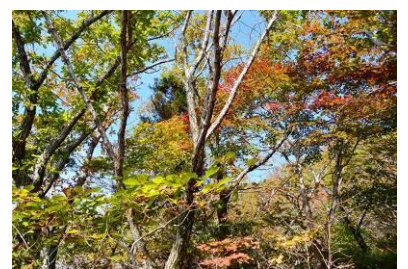
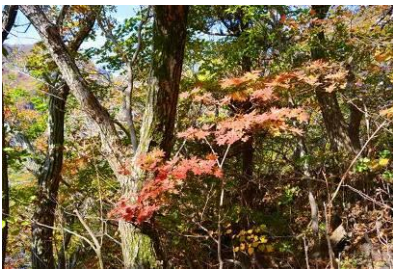
頂上に着いても岩永さんの仕事は続きます。まず、台にする木を組み立てネジで止め要所要所に防虫剤をぬり、シリコンで接着し、銅のカバーを上にかぶせて出来あがったら周りに塩や御酒で御払いをし周りの皆で祝詞を読み上げました。



それからは皆、撮影タイム。古い標柱と新しい標柱を並べて写したり、岩永さんとリーさんを並んで貰って写したり。もちろんオレンジのメンバーも岩永さんを囲んで写真を撮りました。

(報告 山下ちず子)

根子岳紅葉最前線



ヤマラッキョウ



ツルリンドウ





本の紹介

「日本の山を数えてみた」データで読み解く山の秘密

武内 正 : 石丸 哲也(著)

ヤマケイ新書 山と溪谷社 2015. 8. 5

都道府県ごとにみた山の数のランキング、スペースからして北海道が1番なのはしかたがない。この本ではデータが全て国内揃えてあるという点が面白い。つい、長崎県はどうなんだろう？意外な事に47都道府県の中で長崎県は9位。悪くない。この数は宮崎県や熊本県、大分県よりも上なのである。末尾が岳、山、森、峰の割合など、山に関する「うんちく」を知るにはもってこいの出版したばかりの新書である。

おれんじニュース 309

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正 廣
編集責任者 及び 編集委員	山下ちず子 福岡正廣、兵庫芳隆、中野美津子、 林 和子、山下文代、鎗水律夫
発行年月日	2015.11.25
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com/

今年も残り少なくなりましたね。紅葉の綺麗な写真をお届け出来て幸いです。ひとえに鎗水氏のタッチの賜物といえるかもしれませんが。暖冬で気分的にはピンときませんが納山とか、初詣登山などの計画も出ています。皆さんが来年も沢山、山に登れますように！
(山下ちず子)